

“わ” ふれあい

KSC 社会還元センター

ふれあい編集委員会

春の外国人との 国際文化フォーラムを開催

去る4月18日(日曜日)、外国人支援・交流部会は、しあわせの村の研修館大会議室で春の外国人との国際文化フォーラムを開きました。今回は昨年夏のトンボ環境国際フォーラムと、12月の年末集会に続いて第3回目の集会でした。当日は当方の20名に加え、在神戸の留学生を主体に東アジアだけでなく、広く世界12ヶ国の外国人22名が参加しました。

私達はもともと世界中の国々の中から日本を留学先を選んでくれた外国の人達に限りない親しみを感じています。彼らの方もまた日本の文化や日常習慣に関心の深い人達でした。我々としては、このような人達に日本語も上手になってもらい日本に親近感を持って帰国してほしいのです。日本に来て孤独感を味わうことがない様、彼らの良い友達になろうと思っているのです。今回は子供連れの参加者もありましたが、ゲームなど混じえたためか全員が和やかな雰囲気になじりこみ、予定の4時間半はあっという間に過ぎました。



外国人との国際文化フォーラム	1
運営委員会の報告	2
イベント実行委員会の報告	3
高齢社会のいきいき環境を	3
寄付金を活動資金に!	4

当部会で作成した日本文化入門書とでもいうべき小冊子を配りましたが大変喜ばれました。会合では何時も日本の歌を教えています。今回は“ふるさと”で、「兎追いかの山」を斉唱致しました。外国の人は最近の日本の若い人の言葉がひどく乱れていると感じるようです。この様な歌を通じて日本人の心を正しく伝えるのは高齢者の役割だと思います。

彼等も興が乗って来ると、どんどんスピーチを致しましたが、やはり自分が思っていることをうまく表現しようとする日本語より英語を選ぶ人が多かったのが印象的でした。例えばマレーシアのマハティール首相のご先祖はバングラデシュのこの辺りの人だったと熱心に説明するバングラデシュの留学生。又、私達日本人もカレーライスは大好物だが、あなた達のように毎日はいくら食べませんと水を向けると、インドでのカレーは日本の味噌醤油の様なもので、カレー粉もいろいろ種類がありますよと流暢な日本語のインド美人。ガーナの留学生はアフリカでイギリス人とフランス人が何かやっているのを見るとイギリス人の方がいつも要領よくトクをしていると言います。彼は帰国したら大統領になりたいと子供っぽい顔つきで喋りました。国際交流の場らしい話は尽きませんでした。

今後開催するフォーラムで、留学生に出身国の話をしてほしいと要望した処、快く講演を引き受けてくれた人が4人もいました。我々は兵庫県から国際交流事業としての助成金をいただいています。反省点としては、今回もこれだけ多くの国からの参加者がある一方、参加者のいない東アジアの国があったことや、参加者をもう少し他の大学などからも求める事が考えられます。しあわせの村は市内からやや遠く交通費がかかる点を私達は懸念していました。しかし多くの参加者はしあわせの村の風景の美しさに満足していました。計画通りの参加者を得て、今後の活動に自信を深めたのは私共主催者にとって大きな喜びでした。(D部会 葡 聰一)



【委員会だより】

●運営委員会報告

(1) 新年度“わ”企画委員(敬称略)

松井 孝、宮城智子、浦上俊樹、横田 稔、及川隆太郎、中島洋吉

そして、企画委員会は第三金曜日 10:00 から、運営委員会は同日 13:00 から行う

(2) エンコード(駐車券の押印)

実際に村内でボランティア活動をした時にのみ認められる。6月25日からカレッジ事務局カウンターに備えた“わ”専用ノートに記入しカレッジ事務局に申請する。“わ”の会議のための取扱いについては“わ”事務局、部会長が取りまとめて押印を申請することになった。

(3) 活動費の支給

①ボランティア先から依頼を受けた活動にのみ支給。

②くりかえし同じ活動を行う場合は、原則として追加1週間1回を限度。

③先方から支給される場合は事後報告でもよい。

(4) 部会・地区の活動状況

① 7月31日の『村まつり』に参加。
AB部会…(2テント)昔あそびコーナーで折染め、ふくろう、キャンデーレイなど。

C部会…(1テント)輸入果物、ゆでたまご、缶ビールなどの販売。

②有馬温泉の有馬湯殿館観光ボランティアについては吉田正三リーダー・大工原 馨副リーダーのもと各地区からの有志など31名、6月11日に講習会に参加、その後は毎日交替で観光ガイド。

●イベント実行委員会報告

(1) 行事関係

① NHK住田功一氏による講演会（カレッジホール）では手話通訳および要約筆記あり。終了後コーラスで閉会。

②ニュースポーツは3会場で実施。
[カレッジホール]…ペタンク、シャッフルボード、カラーリング、囲碁ボール
[芝生広場]…グランドゴルフ、ディスクゴルフ

[ローンボウルス場]…ローンボウルス

③展示（カレッジふれあいロビー）
パネル中心に兵庫県健康保険団体連合会、神戸市アスリートタウンクラブ、ボランティア活動、部会および地区の活動等。

④公開授業（カレッジ中庭）
『縄文土器』の野焼き作業体験教室。

⑤出店（カレッジふれあいロビー）
バザー（D部会）、茶、コーヒーなど。

高齢社会の…いきいき環境の
多様性をねがって…

今年、1992年の国連総会で決められた『国際高齢者年』の行事が各地で目白押しであり、高齢者の自立と世代間交流による社会参加活動を目指している。

さきに高齢者の社会参加のシステムづくりのひとつとして生活用品のバリアフリー化について、高齢者や障害者を含む多様な人々に対応する「誰もが使いやすい」モノづくりの普及が期待されるユニバーサルデザインを記事にした（本誌4号）。

(2) イベントのPR

①チラシ 10000部を用意。

②7月27日、本庁において新聞記者発表を実施。当社会還元センターのパンフレット、事業報告書、「いきいきヘルシーライフ」開催趣意書、企画書、チラシなど9資料について説明。

③チラシの配布先。

市関係、自治会・老人会・子供会等、老眼大学（3300部）、高齢者生きがい創造協会、地域ミニコミ誌社、大学連合など100者以上。

④準備作業のボランティア要員。

在校生と“わ”会員および地区会員などから200余名にのぼるご協力を得ている

(3) その他

①7月27日から8月20日のあいだは外部からの電話問い合わせに対応して役員が交替で事務局に詰めている（土・日は留守録のみ）。



「誰もが…」とは高齢者、障害者、妊婦、子ども、ケガをしている人、急いでいる人など多様な人であり、人が高齢になるに従い体力、能力の変化に対応して使えることである。

バリアフリー製品の調査研究を行っている市民グループ「E&Cプロジェクト」が提案し、JIS規格に採用されたものにプライベートカードの識別方法がある。これはカードの3パターンの切り欠き形状によってテレフォンカード（切り欠きは楕円）、乗り物カード（切り欠きは三角）、買い物カード（切り欠きは四角）など、カードの裏表や差し込み方向などの識別を容易にした。視覚障害者だけでなく健常者も暗い中でも識別できる利便がある。

千葉大学の堀田明裕氏によれば、このように障害あるいは加齢による身体機能の変化に対応する生活環境デザインの方向として望まれるユニバーサルデザインは生活を正常化するという考えかたが基本であり、1960年にアメリカの公民権運動に発するといわれている。そして、できるだけ多くの人々に使用可能な生活環境とする方向のデザインであり、バリアフリーデザインは引き算のデザイン、ユニバーサルデザインは足算のデザインとされている。

ユニバーサルデザインは基本的に社会的公平性を目標とする社会開発の理念とされるが、現時点では具体的方法は確立されておらず、つぎのような7つの原則が提案されている。①誰にでも公平に使用できる、②使用上の自由度が高い、③使用方法が簡単④環境条件や感覚能力に関係なく必要な情報が理解できる、⑤間違った操作や危険

につながらない、⑥無理な姿勢や強い力を要しない、⑦身体・寸法・姿勢・動き等に関係なく使える。

ところで、高齢者を含む多様な身体的特性の人びととして身体障害者、妊産婦、病人、子供、左利きの人などが考えられ、たとえ健常者でも男女による身体寸法や力の差異もあり、それぞれに生活行為も多様であるため生活環境に対する要求も異なる。

日本建築学会の障害分類では①移動行動（身体を水平・垂直移動）②情報行動（外界の知覚とその意味の理解、情報の発信・伝達）③動作・操作行動（姿勢の維持、交換、生活環境を構成する設備機器の操作）などの3基本行動を挙げている。これは生活行為と環境との間に生じるミスフィット（不一致）、ミスマッチ（不適合）はこの三つの行動に集約できるとしている。

（E部会 横田）

ご寄付の御礼

故、下山昭一氏（生環1年、3月までご在籍）のご遺族からカレッジに「10万円」のご寄付がありました。これについてカレッジからは、これを“わ”活動資金にとの申し出を頂きましたのでご厚意をありがたく頂戴することにしました。

故人のご冥福をお祈り申し上げ、謹んで厚く御礼申し上げます。

編集後記

★この夏、なかなか天候が定まらず、やっと落ち着いたかと思ったらはや立秋。★まだまだ厳しい暑さのなか、地域のあちこちに夏祭りや盆踊りの和やかな響き。★やがて暑さもそろそろ納まろうとする処暑を呼び寄す8月22日は折しもイベント本番。★“わ”の総力挙げての大行事。成功を祈ります。★いま、イベントの準備真っ直中。みなさによる沢山のボランティアご協力を深く感謝いたします。★「“わ”ふれあい」本号発行の遅れをお詫び致します。